レッスン：PYR.No.17

テーマ：同一体

PYR No.17 KE04 No.7 02/1

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光そして火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

　前回のレッスンでは正面、純白のサイド、つまりウリエル担当のサイドで2つの同一形の体があるエクササイズがありました。

　1つはウリエルの体を意味し、それは人間のイデアフォームと同一です。そしてもう一つはあなた自身の体です。その体にはLifeのスパークがあり、その体もまた人間のイデアフォームと同一形です。それゆえ目の前には2つの体があります。

　そして以前のエクササイズで述べたように、さらに3つの同一形の体を見ます：四面ピラミッドの各サイドに一つずつ見ます。そしてそれらもまた同一形です。唯一の違いは、その体の輝きの色が異なるということです。

　正面の2つについてはどうでしょうか？色はまったく同じです。そしてあなたを活性化して生かしているLifeのスパークに属するのはどちらであるかもお話しました。それは左側、ウルトラバイオレットのサイドに近い方です。

　さて、あなたは他の3つのサイドにおける他の同一形の体をもあなたの体を意味すると見なしているでしょうか？あなたのなかのLifeのスパークを意味する体であると？そうでしょうか？答えはノーです。理由は現在のパーソナリティーはまだ自分自身のアークエンジェルのオーダーを現していないからです。

　人間のイデアのオーダーはどれでしょうか？それは人間のイデアであり、そのオーダーはプログラムされたセルフエピグノシスを有していません。ですから、今のところ、私たちは自分たちのアークエンジェルのオーダーを表現していると言うことはできません。それは後になって生じることでしょう。

　四面ピラミッドの4つのサイド全てにおいて自分自身を見ることができるでしょうか？それは生じるでしょう、なぜならば自己実現した現在のパーソナリティーにはいかなるプログラムされたセルフエピグノシスもないからです。創造の諸世界において何であれ他のアークエンジェルのオーダーが行っていることを自己実現した現在のパーソナリティーもまた行うことができるからです。そしてその現在のパーソナリティーは表現のいかなる限界もなく、もはや二元性によって影響を受けることもなくなり、時間・空間の意味のなかにはいないのです。

　ですから、あなたは時間という制限のなかで自分自身を見るのでしょうか？違います。それは瞬間的、短い瞬間には生じますが、そのパーソナリティーはキリスト意識、あるいはいわゆる二番目の甦り（よみがえり）と呼ばれるステートに到達します。そしてもちろん、その現在のパーソナリティーは現在のパーソナリティーの潜在的可能性の大きなサイクルによって提供されるLifeの本質を表現するようになるのです。

サイクルが提供する助けを完全に利用できるようになるには何が必要でしょうか？それは視覚化（ビジュアライゼーション）あるいはいわゆるイドロプラシーと呼ばれる能力です。過去にsurfaceoplacyに関するエクササイズを提供してあり、それを今あなた方は実践すべきです。

Page2

 それを達成するためにはエーテルをマスターすることが必要です；しかし勿論それは徐々に達成されるプロセスです。刻印エーテル、感覚エーテル、そして勿論それら全てのなかにある運動エーテルを使用できる必要があります。しかしなぜ感覚エーテルなのでしょうか？ごく最近お話したように、なんであれ外側であると見るものは実際には内側にあるのです。

　何であれ私たちが良いものとして築くもの、そして特にそれらの助けは潜在的可能性のサイクルのなかにあります。それらはすべて法則を意味し、それは私たちの内側にあります。そして感覚エーテルはそこにあるべきです、それは実際内側にあり、そうあるべきです。ですからあなた方はそれら3つのエーテルの特質を使用できるべきです、それはあなたが見るものであり、あなたが創造したものでなくても、それを視覚化することによって見るのです。

　さて、あなたが何かを見て、それを潜在意識に貯蔵し、視覚化としてそれを意識の表面に持ってくるのです。実際にあなたは築くのです。ですからあなたの視覚化とはまた、それを表面にもたらすその瞬間にあなたが築く何かなのです。例えそれがあなたの潜在意識に貯蔵されていようとも。

　このような努力すべてには一つの目的、仕事があります。それは不定形の諸体を再形成することです。それらの諸体は完全に再形成された時には完全に同化されるでしょう。これが実存の諸世界のなかで行われる唯一の同化です；それらは既に私たちの内側にあるLifeのスパークの体のなかで同化されるのです。私たちは別の体を使うのではありません；自己実現した現在のパーソナリティーが自己実現に到達するための体はすでに私たちの内側にあるのです。

　自己実現に到達すると、他の全てのアークエンジェルたちがLifeの王国から創造しているもの全てを私達も創造できるようになります。彼らは動物王国、植物王国そして他の全ての王国を創造しています。

**自己実現した現在のパーソナリティーは動物を創造することができるでしょうか？答えはイエスです。自己実現した現在のパーソナリティーは人間の体を創造できるでしょうか？そうです、創造し、Lifeの息吹きによって活性化し、命をもたらすことができます。特定の聖なる目的のために、それを創造する人が命を吹き込むのです。**

　ですから、そのような創造があります。しかし今の現在のパーソナリティーは、二元性の結果として無数のエレメンタルを創造しています。

　そして現在のパーソナリティーが創造する2つのタイプのエレメンタルがあります。願望想念型、あるいは想念願望型です。しかし、創造はまったく同じです。しかし何であれ自己実現した現在のパーソナリティーが創造するもの、それは神のブレーシス（＊神の意志）の結果であり、二元性の使用によるものではありません。

　それでは現在のパーソナリティーについてはどうでしょうか？「創造され」、活性化された現在のパーソナリティーそれ自身はどうでしょうか？体は創造されたのでしょうか？聖霊的に創造された身体があります…**Lifeのスパークによって活性化された現在のパーソナリティー**がその身体を使用します。

ですから人間の身体があり、

また自己実現した現在のパーソナリティーによって築かれる人間の身体があります。

　それらの違いは何でしょうか？

ひとつは現在のパーソナリティーによって使われます。

もう一つは他の同胞の人間達を助けるために使われ、それがその体が築かれる理由です。そしてその体のなかにはその体を活性化するLifeのスパークを「見いだす」ことはありません。現在のパーソナリティーのなかには勿論、その現れを活性化するLifeのスパークがあります。

　さて、

現在のパーソナリティーとして私たちの内側にはLifeのスパークがあることによって、天上人と同一のスパークの体があります。

しかし、他の体（＊自己実現した人によって築かれる体）には人間のイデアフォームと同一形の体を見ることができるでしょうか？自己実現した現在のパーソナリティーはそのようなフォームを投射することができるのでしょうか？

　その体はLifeの一つのスパークの体ではなくても、その体はLifeの多重性を表現することができます。そのスパークは一つなのであり、それが体の数の制限なしに広がるのです。しかし、それは前に述べたようなスパークではありません。それはLifeの息吹ですらありません。もしそれがディバインの仕事を行うLifeによって活性化されるのであるなら、違いは何でしょうか？違いはありません。

Page3

 しかし、このケースは数年前にLifeの多重性について説明した時に述べたケースとは異なります。なぜなら、実際、スパークそれ自体は一つの体に見いだされ、他の体は一つの体にあるスパークによって活性化されているからです。

　覚えているかもしれませんが、完全に再形成されたサイコノエティカル体を使用するLifeの多重性について説明していた時、Lifeのスパークは全ての体のなかにあり、そこにはまったく違いがなく、オリジナルの体とそれ以外の同一体とを区別することはできません。しかし、今のこの場合は、事情は異なります。なぜなら、創造された体は「オリジナル」によって、自己実現した現在のパーソナリティーによって活性化されるからです。投射されるのはLifeそれ自体ではありません。

　しかし、それが生じるのは、そのパーソナリティーが自己実現のステートに到達し、今多重性の能力を現しているからです。さもないと、そのパーソナリティーは多くの体を創造し、活性化することすらできないでしょう…つまり天上人の体を持つと言う意味です。しかし、Lifeの他の王国、動物界、植物界その他の王国を創造するということではありません。はっきりとわかったでしょうか？

　ですから、そのような創造には目的があります。自己実現した現在のパーソナリティーが他の人間達を助けるためです。すでにそれは自己実現に到達した他の人類によって、この地球上でも生じています。

Q：多重性において、複数のパーソナリティーそれぞれにはLifeのスパークがあり、しかし元のオリジナルなものを区別することができないのですか？

K：はい、しかしあなたは自分自身の体である一つの体が人間たちによって捕らわれて、支配されることを許しますか？勿論、許しませんよね。あなたはエレメンタルを創造し、それを人間たちが勉強する目的のために提供するのです。その結果、この地球上または他の惑星の人類が次のように考え始めるように、「創造界のなかで自分たちだけが唯一の人類ではない。そしてテクノロジーはより高いレベルに到達できるのだ」と。

　第二次世界大戦の前ですら、政府はそのような人間、いわゆる地球外人類を捕らえていたのですが、彼らはそれを分析し、自分たちがもっとパワーを手にするまではそれを秘密にしているのです。

Q：彼らはより高いレベルにいるのですか？私の質問は彼らは自分自身の姿をそのまま見せているのでしょうか、それとも私たちに問いを投げかけるために特別な姿を投射しているのでしょうか？なぜなら、彼らは多かれ少なかれ同じような姿をしているからです。２本の足と腕は共通していますが、でもそれぞれ異なって見えます。

Ｋ：外見の特徴は問題ではありませんが、その構造は生命の木の構造とまったく同じです；フォームは天上人の体と同じです。彼らは私たちが内側で持っている体と同じです。まったく同じ体です。

Ｑ：彼らは私たちに何かを教えるために来て、なぜ捕らわれてしまうのか理解できません。それとも彼らは何かを教えているのではないのでしょうか。私たちが理解しているような完全な人生を生きているのでしょうか、それとも一時的な目的のために来るのでしょうか。それとも完全な生を生きているのでしょうか？

K：勿論彼らはプログラムされています。全てはプログラムされています。私たちは意志に反して、あるいは自己実現した人類のグループのブレーシス（＊神の意志）に逆らって何かができるでしょうか？いいですか。

　**私たちのシステム、つまり私達の惑星は、テクノロジーによって他の惑星たちを訪れる能力のある訪問者たちから守られています。しかし、将来地球上の人類がそのようなテクノロジーに到達するときには、状況は変わるでしょう。**

今訪れているのは助けるためです。しかし今からどれぐらい先になるかわかりませんが、私たちの技術が宇宙を移動できるレベルになれば、私たちも他の惑星の人類と会うことになります。

　**実際、皆さんはこの創造界はどこにあるのかご存じですか？それは同時に皆さんの内側にあるのです。**

Page4

 Q:　私の理解が正しければ、複数の同一体がある場合、人間のイデアフォームはそれらすべての多重性のコピーに伴うのですよね。自己実現したモナドが多重性を使用する場合、各体はその中に人間のイデアフォームを有するわけですが、しかしエレメンタルの場合はそうではないということでしょうか？

K：ノー、エレメンタルでもそのフォームを有します。しかし、そのフォームはLifeの息吹によって活性化されます。それはLifeそれ自体であるかどうかの問題ではありません。

　さて、多重性を表現すると言う時、数年前に話した多重性、つまり同時に自分自身を多くの体として投射し、各体が自分自身であると話しました…同時に10の体、100の体のなかにいるかもしれません。しかし、それは今晩話しているケースではありません。今晩話しているのは、自分自身によって活性化される人体を築き、創造することについて述べています。そしてこの体に対する活性化はLifeのスパークによって活性化される現在のパーソナリティーの体と同じではありません。

Q：それは理解しています。しかし私の質問は、スパークと共に多数の体を有している時、それらの体が人間のイデアフォームを伴っているのか否か、とあなたが質問したのだと思ったのです。

K：違います。私の質問は、自己実現した現在のパーソナリティーが身体を築く時、その体はその中に人間のイデアフォームの元型を有しているか否か、というものです。イエス、その元型を有しています。しかし、そのフォームは自己実現した現在のパーソナリティーによって活性化されます。なぜなら、自己実現した現在のパーソナリティーが体を築く時には、人間のイデアフォームの体を使用することによって自己実現のステートにあるからです。しかし、自己実現した現在のパーソナリティーとしてでさえ、その人は転生のサイクルに留まるでしょう。しかし、そうするためには、その瞬間にはその現れのステートである必要があり、低い波動の表現の中にあってはならないのです。低次の波動の諸体…つまりサイコノエティカル体あるいは肉体さえもですが、それらの中ににあってはいけないのです。

　自己実現した現在のパーソナリティーは他のアークエンジェルたちがしていることを実際にすることができる、と言いました。現在のパーソナリティーがいわゆるアークエンジェル的ヒポスタシスを現している時には、何であれ他のアークエンジェルがしていることを自己実現した現在のパーソナリティーも行うことができるのです。

　そしてアークエンジェルたちは何をしているでしょうか？前に述べたように、彼らは例えば動物のいろいろな種を築いて創造し、Lifeの息吹で各動物たちを活性化して命を与えるのです。ですから、自己実現した現在のパーソナリティーもそれをすることができるのです。しかし、いいですか、違いがあります。動物はLifeそれ自体を表現することはできません。

　自己実現した現在のパーソナリティーが創造するエレメンタルについてはどうでしょうか？何であれその創造が表現するものをコントロールする能力がありますが、しかし主な違いは動物の表現は本能によってコントロールされるということです。全ての動物はそのようになっています。なぜでしょうか？なぜなら、動物のグループとして彼らは共通の本能、共通の意識を有していますが、しかしそれはLifeそれ自体である意識ではありません。

　それでは自己実現した現在のパーソナリティーによって活性化された創造物についてはどうでしょうか？それもまた動物の種と同じでしょうか？答えはノーです。なぜなら、自己実現した現在のパーソナリティーによるエレメンタル、その創造物はモナドセルフのスパークではないが、しかし活性化されます。しかし、Lifeそれ自体から来るのと同じ本質、同じ現れを有し、そこには限界はありません。唯一の限界、制限はその創造によってプログラムされた現れです。いずれにしても、もしあなた方が内側でワークすれば、私が意味することを理解できるでしょう。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

レッスンPYR 17 エクササイズ １

目を閉じて静かに座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…真っ白な中にいる自分を見て、自分の形の境界を感じます…深くて快適な呼吸を始めます…快適に呼吸します…

　息を吸う時には何らかのエネルギーが身体に入るのを感じ、そのエネルギーはあなたの身体に熱を与えます…息を吸う度にその熱が身体に入るのを感じます…そして息を吐く度に肉体の健康にとって悪いものをはき出します…息を吸い、熱が身体の全ての原子、細胞、そして分子に広がります…深くて快適な呼吸を続けます…この熱の循環を感じます、内側で血液の循環を感じます、なぜなら血液もまた熱くなるからです…深くて快適な呼吸を続けます…身体全体に広がっていく熱を感じます…そして今その熱は身体にとって普通の暑さになっています、もはや寒さを感じません、暖かく感じ、とても良い気分です…身体の内側でワークする準備ができています…それでは呼吸には何も注意を向けずに呼吸します…普通に感じます…身体が温かくて快適に感じています…今このような状態にいて、あなたはどこにいるのかに気づいています…あなたはこの部屋の中にいます…そして自分の体の境界の中にいますが、その境界にはフォーカスしません…身体のどの部分にもフォーカスしません、身体を自由にさせ、あなたの注意も自由にさせます…

　さて、何かがあなた方各人の身体のどこかに触れています…身体にどの部分にそれが触れているかを感じてください、そして何が触れているのかを感じます…何かがあなたの身体のある部分に触れています…どこに触れているかを感じてください…

　　終わります。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

これからエクササイズを行います、それによってあなた方各人がこれまで十分にエクササイズをやってきたか否かがわかるでしょう。これからは与えられる他のエクササイズの他に、エーテルの特質に関するエクササイズを行います…視覚化、idoloplacy、そしてsurfaceoplacy（＊表面を感じる？）です。

　さて、このテストの結果はどうなるでしょうか？良いですか、悪いですか？過去に、皆さんのなかにはエーテルの手の投射を感じることができた人もいました；今はどうでしょうか？その能力は過去に置いてきて、何か別のものに集中していますか？それがわかるのはあなたです。

　どこで、何があなたに触れましたか？片手があなたの額に触れました。

それではさらに２つのエクササイズを行います。リラックスし、身体の一部にフォーカスしないようにします。その結果、何かが触れる、あるいはその他を感じることができるようにします。触感ではないかもしれません。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

レッスンPYR 17 エクササイズ2

目を閉じて静かに座り、心を騒がせるものすべてを解き放ちます…真っ白な中にいる自分を見、自分の形の境界を感じます、しかしあまり強くはなく…手の平を上向きにして両手を両膝の上におきます、手の平の内側は感じないでください、両手を完全に自由にします…それでは今あなたの片方の手の平に何かが置かれました、その重さをその片方の手の平で感じます…手の平に置かれたものには形と重さがあり、特定の大きさがあり、また特定の色があります…その手の平でその重さを感じます、どちらの手の平に置かれているかを感じてください…重さもありますので、それを感じてください…そしてまた特定の形、サイズ、そして色があります…

　さて、別の物が他方の手の平に置かれました、その感覚は先ほどの手の平の感覚とは異なっています、それも特定の形、サイズ、色があります…前の手の平との違いを感じてください…違いを感じます…この二番目の手の平で生じていることを何であれ感じます、一番目の場合とはまったく異なる何かが起きています…

　終わります。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

　何を感じましたか？最初はどちらの手の平でしたか？右ですか、左ですか？それは右でした。右手には何がありましたか？そうです、球です。その球の大きさは？それはテニスボールとバレーボールの中間ぐらいの白い球でした。

　左手はどうでしたか？それは鳩でした。鳥ですので絶えず重心を右足、左足へと移動させます…その体重の移動を感じます。その両足の重心の移動、およびLifeの活動の結果として生じた波動を感じます。色は白でした。

Page6

レッスン　PYR17 エクササイズ３

目を閉じて静かに座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…純白のなかにいる自分を見、自分の境界を感じます、しかしあまり強くなく…

　あなたは自分がどこにいるかに気づいています、あなたはこの場所、この部屋をよく知っています、そしてあなたが今いるこの場所で快適に感じています…

　今あなたはこの部屋にプレゼンス（＊聖なる神の臨在）が入ってくるのに気づいています…それはプレゼンスであり、それは今あなた方一人一人の前に立っています。このプレゼンスのゆえに部屋全体が輝きまたは何か色のある輝きで覆われています、そしてあなたはこの輝き、またはその輝きがあなたを包んでいるのを感じています…

　あなたは今この輝きの結果である暖かさを感じています…その輝きはどんな色であるか、そしてそれが1つの輝きまたは2つ以上の光の輝きであるかを認識してください…

　今、あなたの前にあるこのプレゼンスがあなた方各人に同時に何かを行います…それが何であれ、それは一瞬ではなく、あなたに継続的に何かをします…このプレゼンスがあなた方各人に何をしているのかを感じてください…それは一瞬ではなく、あなたがもっと感じられるように継続して行っています…

　それを感じられるようにリラックスし、そしてそれを見ることができるように試みてください…もしそのプレゼンスを感じることができるなら、あなたの前にいるそのプレゼンスは何でしょうか…。

終わります。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

　このプレゼンスは何でしたか？何かを感じましたか；何か色を見たでしょうか？

いずれにしてもそのプレゼンスとは主のプレゼンス以外のなにものでもありません。その主のプレゼンスから出ていた光、輝きは金色、ホアワイトピンク、そしてホワイトブルーでした。しかし、そのヒポスタシス自体は非常に明るい白の輝きでした。その輝きのゆえにあなたはそのヒポスタシス自体を見ることはできません。そのヒポスタシスがあなたの前にあり、2つの手が差し出されてあなたに触れました。あなた方は額に接吻を感じるべきでした。それは各人間が何を表現していようとも、主が常に全ての人間に差し出しているLifeの接吻です。そして最後に主はあなたを横切りました、どのようにしてかは問題ではありません。それがこの部屋で起きたことです。

　ですから結果は、あなた方はワークをすべきだということです。

Q:　もしこのエクササイズを行っている人がキリスト教に属していなくても、違いはありませんか？

K：なんであれエレブナが提供していることは、その人の信条を強めるためです。これらのレッスンについてくるレベルに到達している人なら、それを理解できるでしょう。ですから私たちはその人の信条が何であれ等しく受け入れ、抱きしめるべきです。それが私たちの原則であり、どんな信条であれその人の信条を揺るがそうとするべきではありません。誰かの信条、宗教を変えようとすることは間違っています。これは宗教ではありません、私たちは探求であり、何であれ提供されているものはその人の信条を強めるためのものです。それによって人類は創造界およびLifeそれ自体との関係において自分たちが何であるかを認識するようになるためです。

質問させてください。自分自身に熱を与えるエクササイズで何か違いを感じましたか？熱が自分自身のなかに入ってくるのを感じましたか？いつでも寒さを感じたら、このエクササイズを行ってください、すると通常の体温に戻ったと感じることでしょう。あなたの身体の全ての部分で徐々にその熱を感じることでしょう。

EREVNA PYR/17 KE04 No.7 02/1